

1) 右と左のチョコは、どちらが多いかいたすねて、不等号を貼らせる。  
2) もし、数が数えられても、数えてさせてはいけない。  
3) 1対1の線つなぎで確かめ作業をし、選んでいたら「×」「×」が誤りを示すという記号的意味の理解。  
をつけ、別の不等号を上から貼らせる。

a) 広がった配置と狭まった配置の量的印象と、1対1対応による多少の判断の相克と克服。簡単には了解できないことがある。  
b) 「×」が誤りを示すという記号的意味の理解。  
c) 注意深く線引きする必要性の意識と訓練。

評  
Date /  
Note

① 多いと思うように  
<か>を  
貼ってみよう。  
(直感的予測で)

② 線をつないで  
たしかめよう。  
(1対1対応で、  
違ったら貼り直し)

チョコは、  
どっちが  
おい?

↓ 2つ目の不等号は直し用

